

令和5年6月30日

虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合へのシンジケートローン形式による 「グリーンローン」への参加について ～当行初となる再開発組合によるグリーンローンへの参加～

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合（東京都港区、以下「本組合」）に対するシンジケートローン形式によるグリーンローン（総額 975 億円）に参加しましたので、お知らせします。

本組合は、「虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業」（※1）以下「本事業」の推進を目的として、2022年6月に東京都から設立認可を受けた都市再開発法に準拠した市街地再開発組合であり、本組合の組合員は、本事業の対象となる建設地の全ての地権者ならびに参加組合員としての中央日本土地建物株式会社（東京都千代田区）、独立行政法人都市再生機構（神奈川県横浜市）、および住友不動産株式会社（東京都新宿区）から構成されます。

本組合は本事業の目的の一つに「防災機能の強化と環境への取り組み」を掲げており、本事業において建設される複合施設は「LEED」における予備認証 GOLD を取得しているほか、今後、「ZEB (Oriented 以上) 並びに「BELS」、「DBJ Green Building 認証」及び「CASBEE 建築」における最上位ランクを取得する予定です。

本ローンは、株式会社日本格付研究所（JCR）より「グリーンローン原則」（※2）及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」への適合性について第三者評価を取得しています。

当行は、今後も ESG 金融の拡大に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

【本グリーンローンの概要】

借入人	虎ノ門一丁目東地区市街地再開発組合
方式	シンジケーション方式
アレンジャー行	株式会社みずほ銀行
参加金融機関	株式会社徳島大正銀行 他 8 社の金融機関
組成金額	975 億円
契約締結日	2023 年 6 月 27 日

（※1）虎ノ門一丁目東地区第一種市街地再開発事業

国家戦略特別区域計画の特定事業として、国、東京都及び港区が目指す都市像の実現に向け、都市基盤の整備と都市機能の拡充を通じて虎ノ門エリアにおける約 1.1ha の計画区域内に新たなランドマークとなる延床面積約 12 万㎡の「駅と一体となった国際的なビジネス交流拠点」を整備するもの。

（※2）グリーンローン原則

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年 12 月に The Loan Syndications and Trading Association も参画。

以上

※SDGs 「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」
17 の目標と 169 のターゲットから構成される 2030 年までの世界共通目標のこと。
貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく様々な取り組みを行なっています。

